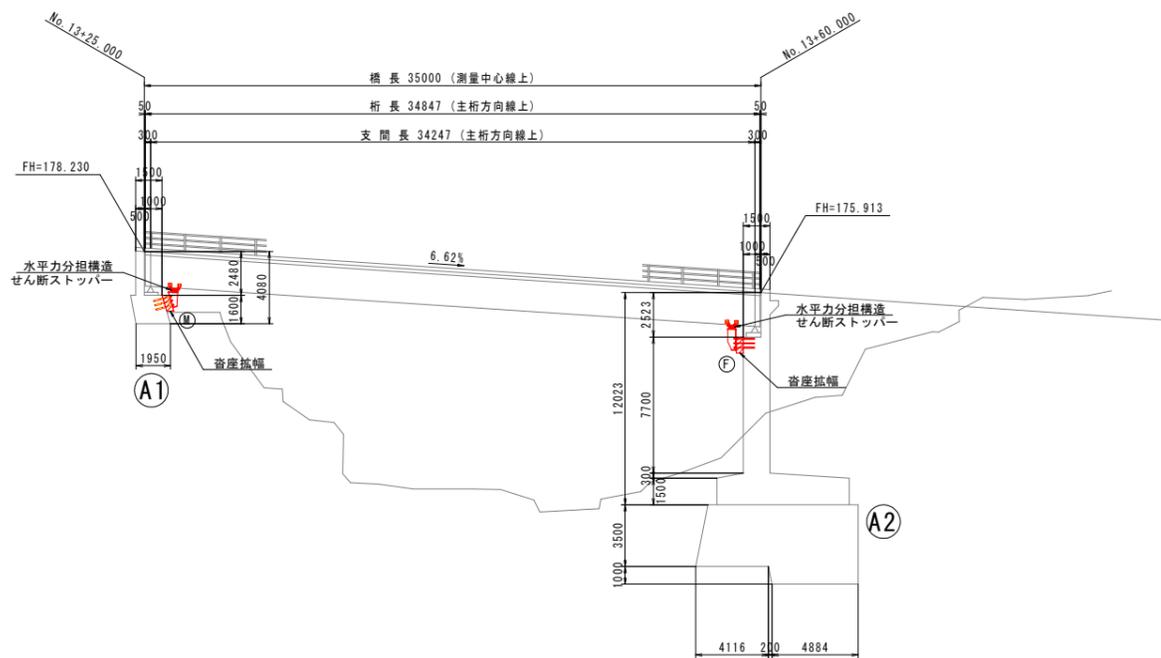
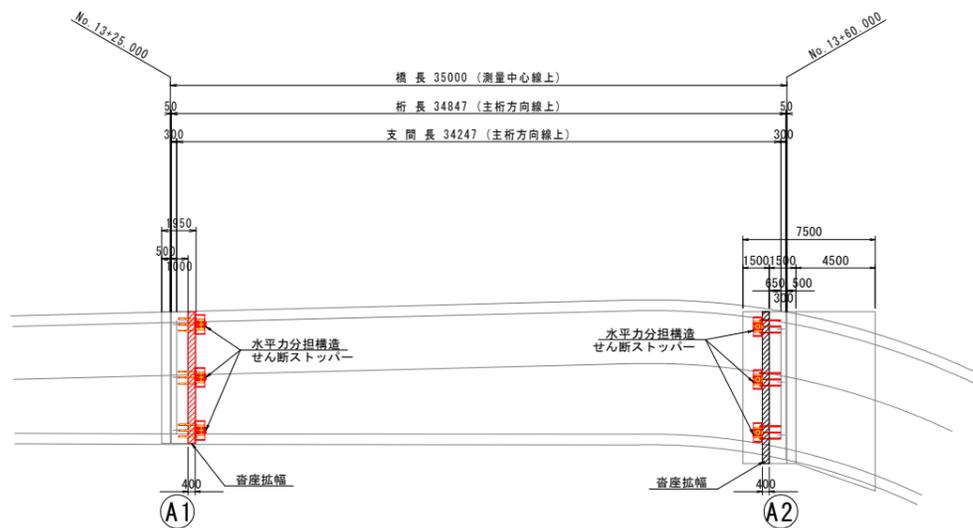


# 耐震補強橋梁一般図 S=1:200

側面図

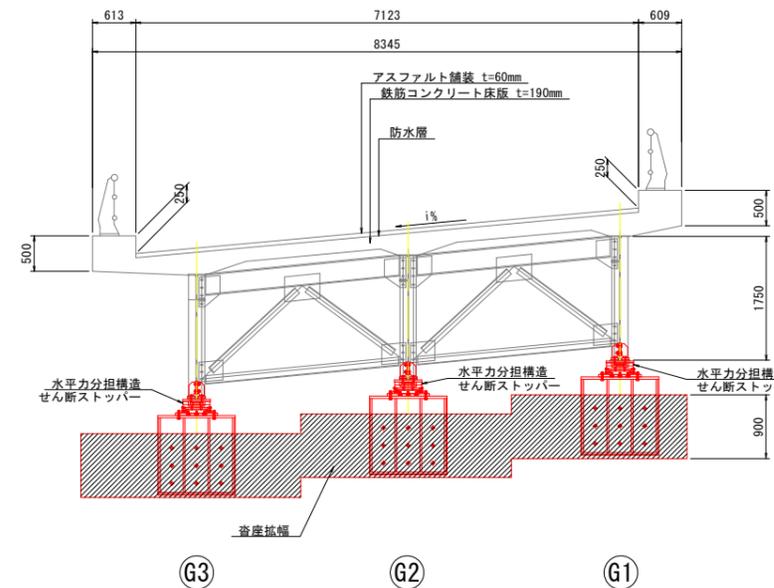


平面図



断面図 S=1:50

SH2端部



橋梁諸元

道路区分	-		
設計速度	40km/h		
大型車交通量	500台未満 台/日		
供用開始年月	1995年3月		
橋長	35.00m		
支間長	34.25m		
全幅員	7.20m		
有効幅員	6.00m		
活荷重、等級	TL-14 (2等橋)		
適用示方書	平成2年 道路橋示方書・同解説		
設計水平震度	kh=0.16, 0.20		
上部工形式	鋼単純合成版桁橋		
下部工形式	A1橋台 逆T式橋台(直接基礎) A2橋台 重力式橋台(直接基礎)		
主桁材質	SMA490AW, SMA490BW, SMA400AW		
床版	鉄筋コンクリート床版, t=190mm		
許容応力度	上部工	コンクリート	$\sigma_{ca}=8N/mm^2$
		鉄筋(SD295A)	$\sigma_{sa}=140N/mm^2$
	下部工	コンクリート	$\sigma_{ca}=7N/mm^2$
		鉄筋(SD295A)	$\sigma_{sa}=160N/mm^2$

補強設計

落橋防止システム	音座拡幅: A1, A2 水平力分担構造(せん断ストッパー): A1, A2
適用示方書	平成24年 道路橋示方書・同解説

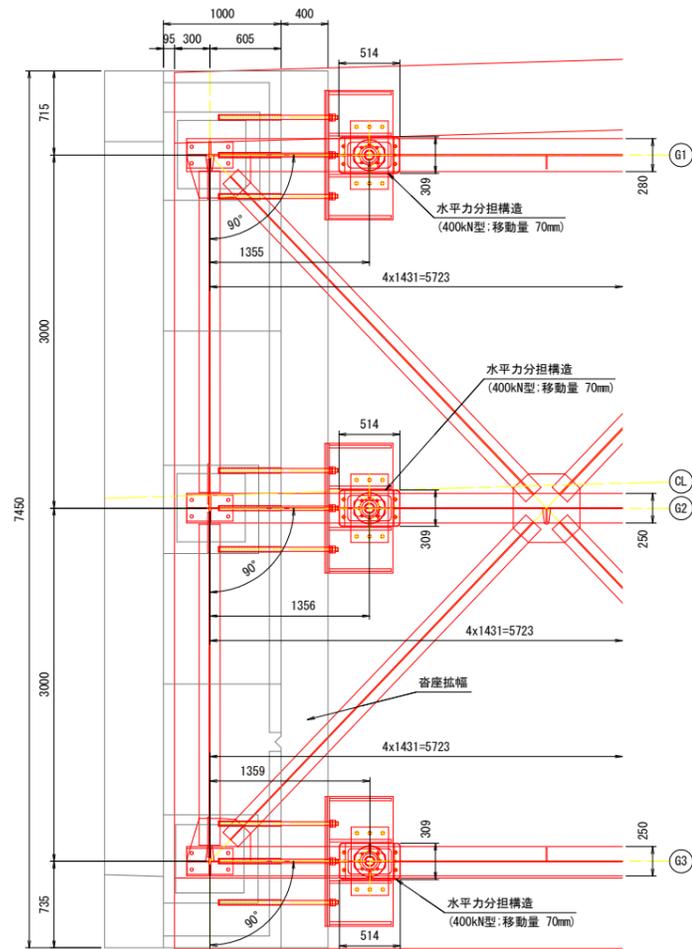
実施設計図面

工事名	R4徳耕 広域 徳島東部3期 8の6号橋梁耐震工事
路線名等	徳島東部3期 地区
工事箇所	勝浦郡勝浦町
図面名	耐震補強橋梁一般図
縮尺	1:200 図面番号 1/12
会社名	
事業者名	徳島県東部農林水産局<徳島>

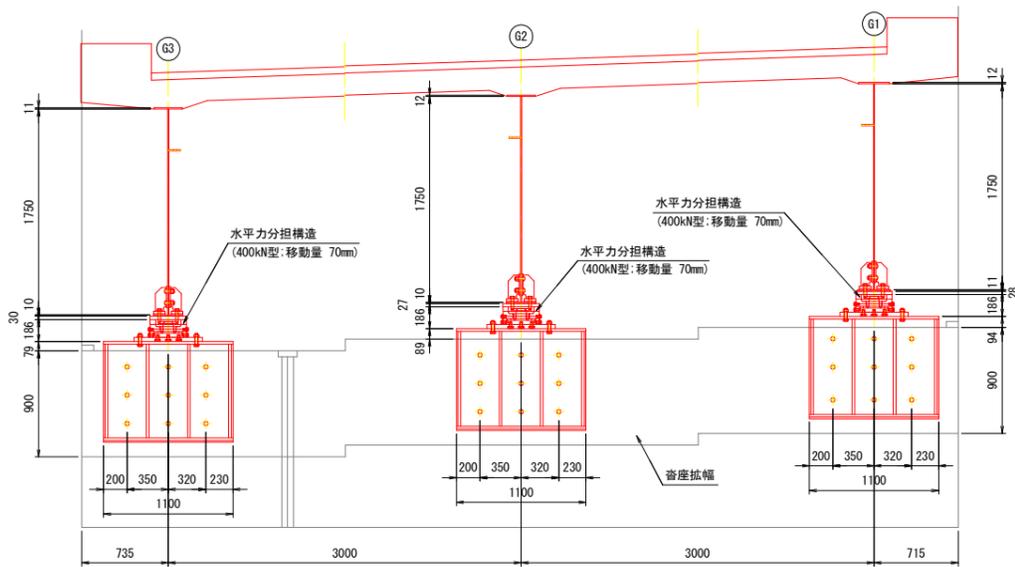
# 落橋防止システム配置図(その1) S=1:30

## A1橋台

平面図

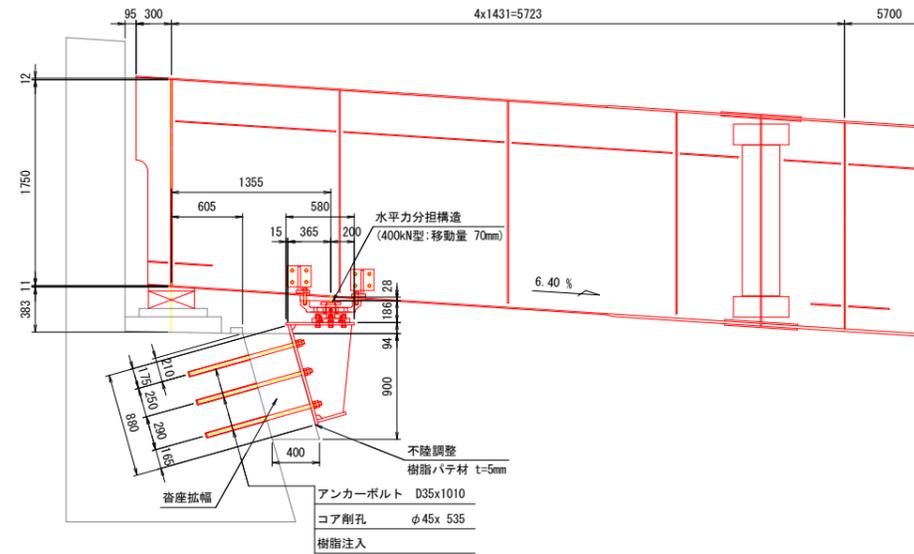


正面図

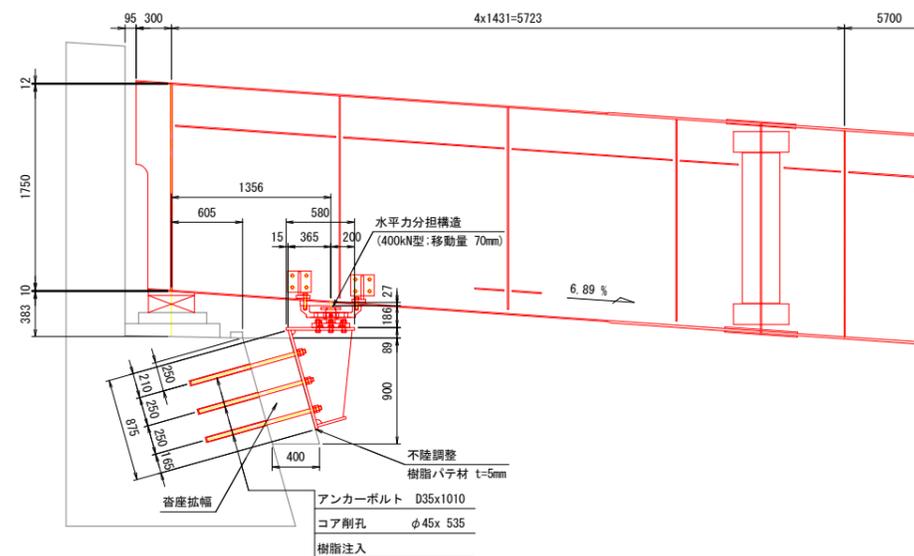


側面図

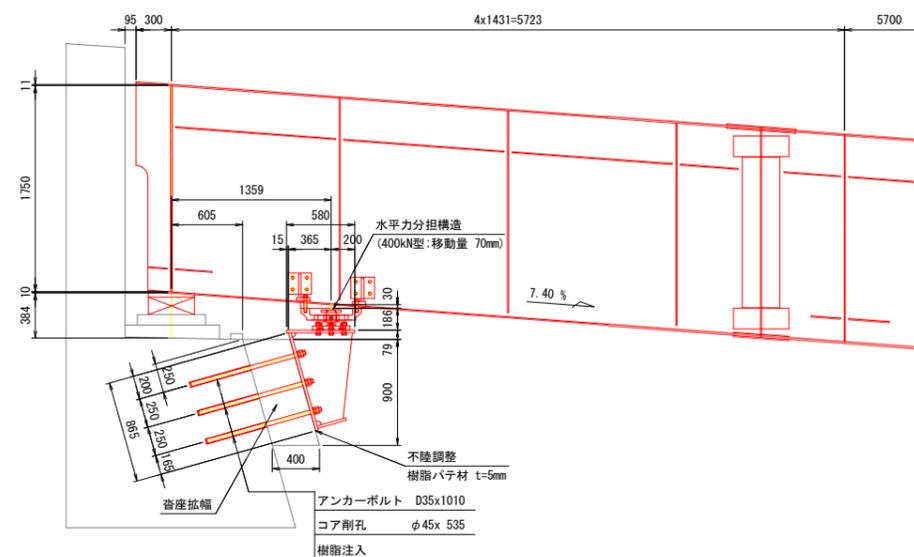
A1-G1



A1-G2



A1-G3



実施設計図面

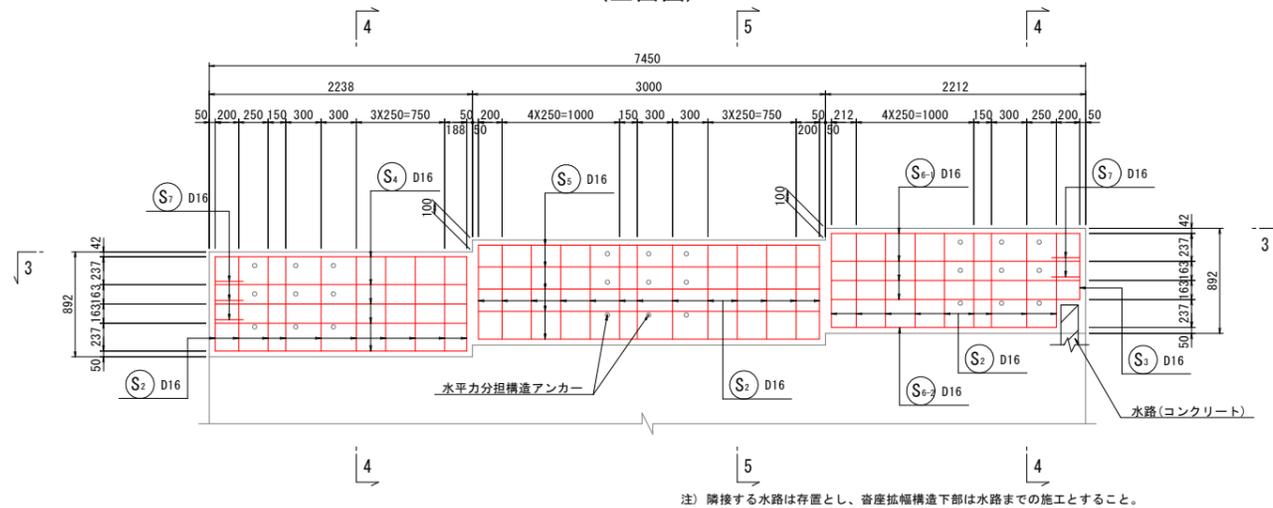
工事名	R4徳耕 広域 徳島東部3期		
路線名等	8の6号橋梁耐震工事		
工事箇所	勝浦郡勝浦町		
図面名	落橋防止システム配置図(その1)		
縮尺	1:30	図面番号	2 / 12
会社名			
事業者名	徳島県東部農林水産局<徳島>		



# 沓座拡幅配筋図(その1) S=1:30

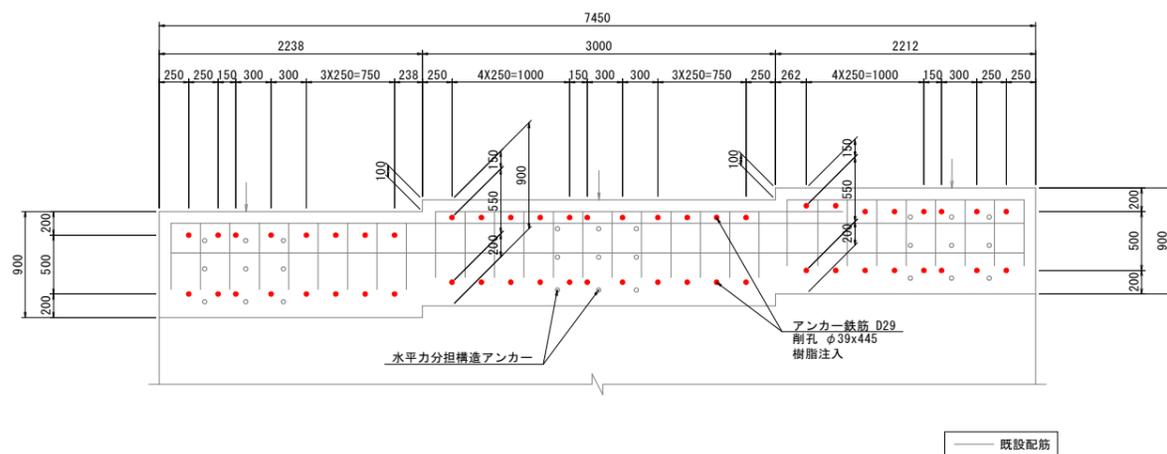
A1橋台

1-1 (正面図)

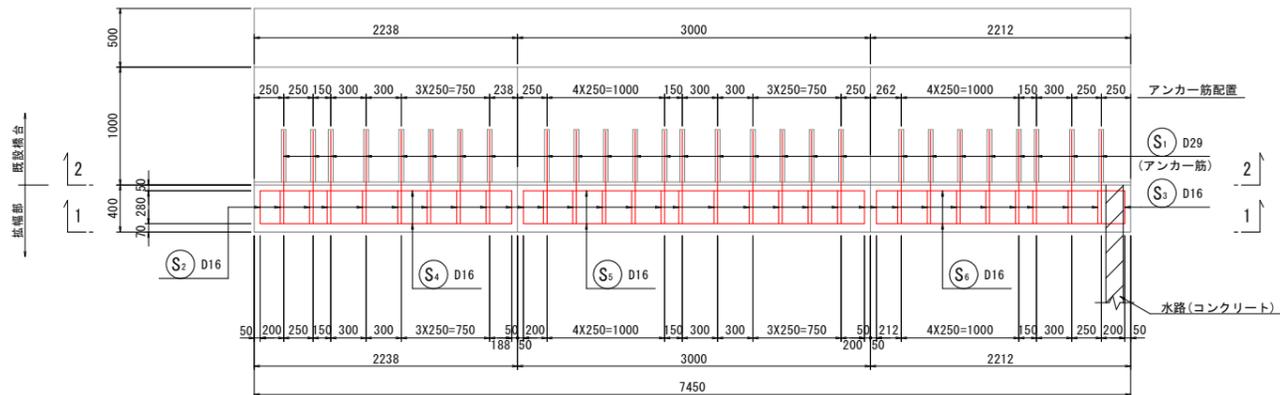


注) 隣接する水路は存置とし、沓座拡幅構造下部は水路までの施工とすること。

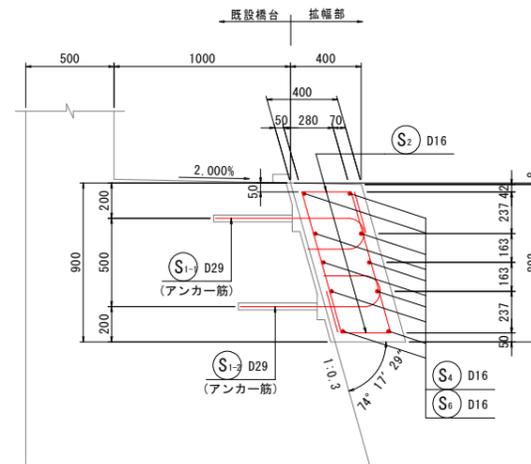
2-2 (アンカー削孔位置)



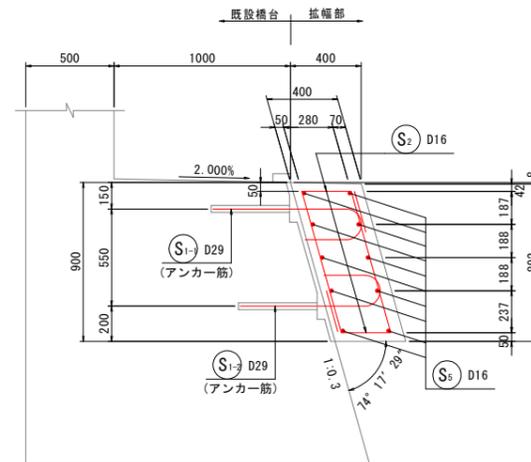
3-3 (平面図)



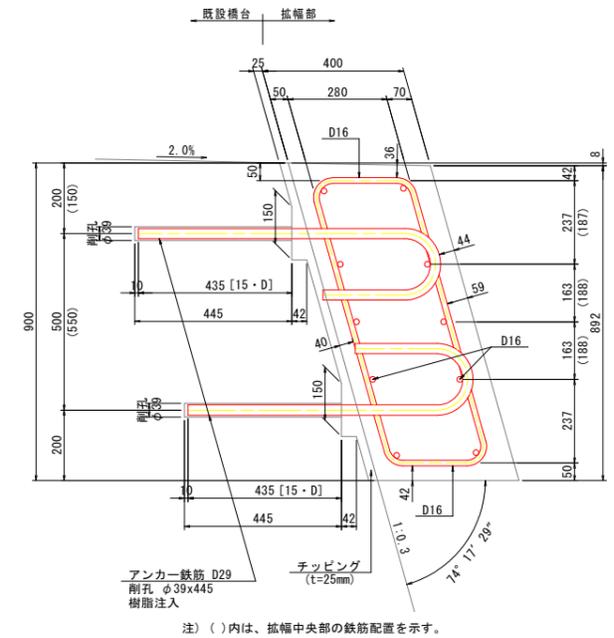
4-4 S=1:20 (断面図:標準部)



5-5 S=1:20 (断面図:中央部)



かぶり詳細図 S=1:10



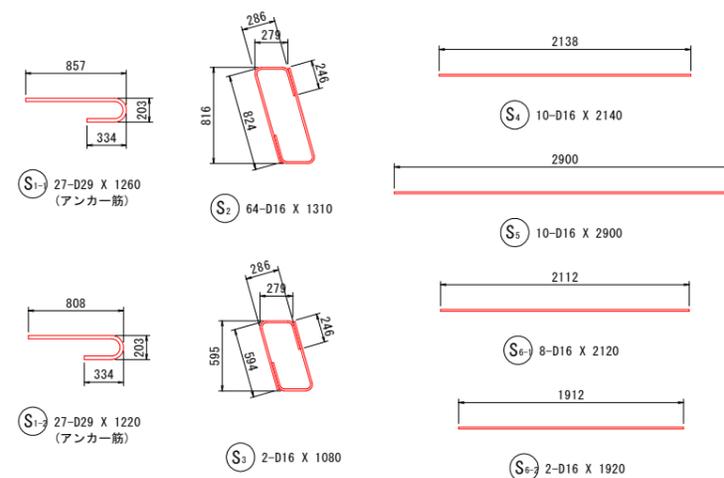
注) ( )内は、拡幅中央部の鉄筋配置を示す。

鉄筋質量表(SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
S 1-1	D29	1260	27	5.04	6.35	171	U
S 1-2	D29	1220	27	5.04	6.15	166	U
S 2	D16	1310	64	1.56	2.04	131	?
S 3	D16	1080	2	1.56	1.68	3	?
S 4	D16	2140	10	1.56	3.34	33	—
S 5	D16	2900	10	1.56	4.52	45	—
S 6-1	D16	2120	8	1.56	3.31	26	—
S 6-2	D16	1920	2	1.56	3.00	6	—
S 7	D16	690	5	1.56	1.08	5	—
586							
合計 D29				337	kg		
D16				249	kg		
総質量				586	kg		

注記

- ※コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。
- ※施工に先立ち現地実測を行い形状決定を行うこと。
- ※既設コンクリートへの削孔の際は鉄筋探査を実施して既設鉄筋を切断しないように十分注意をすること。
- ※現地でアンカー筋の配置位置を変更する場合、有効高が高くなる方向に変更すること。
- ※アンカー鉄筋の定着は既設橋台面より橋軸方向に $15 \cdot D$ 以上を確保すること。
- ※コンクリート打設後、十分な養生を行うこと。
- ※削孔径は、鉄筋径+10mm程度とする。
- ※水平力分担構造のアンカー筋の配置位置を変更する場合、沓座拡幅内の配筋筋の位置を適宜調整すること。



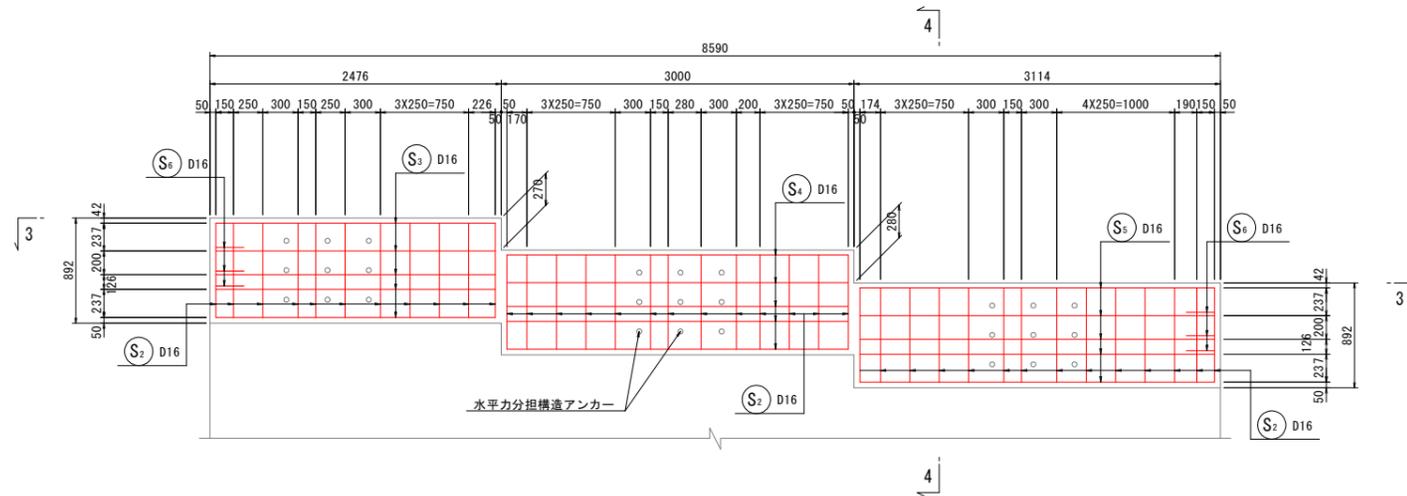
実施設計図面

工事名	R4徳耕 広域 徳島東部3期 8の6号橋梁耐震工事
路線名等	徳島東部3期 地区
工事箇所	勝浦郡勝浦町
図面名	沓座拡幅配筋図(その1)
縮尺	1:30 図面番号 4/12
会社名	
事業者名	徳島県東部農林水産局<徳島>

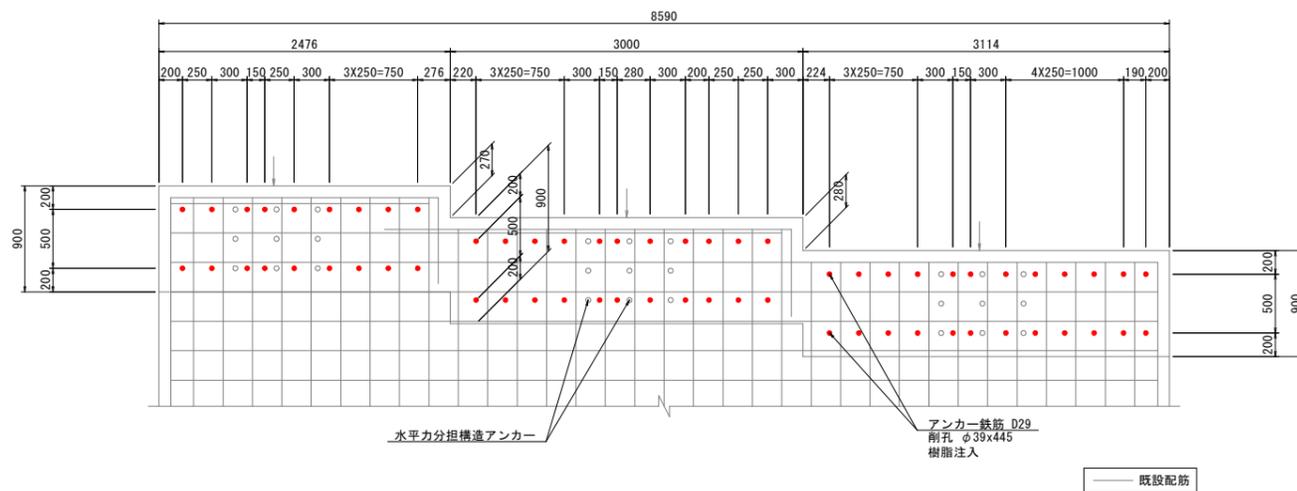
# 沓座拡幅配筋図(その2) S=1:30

A2橋台

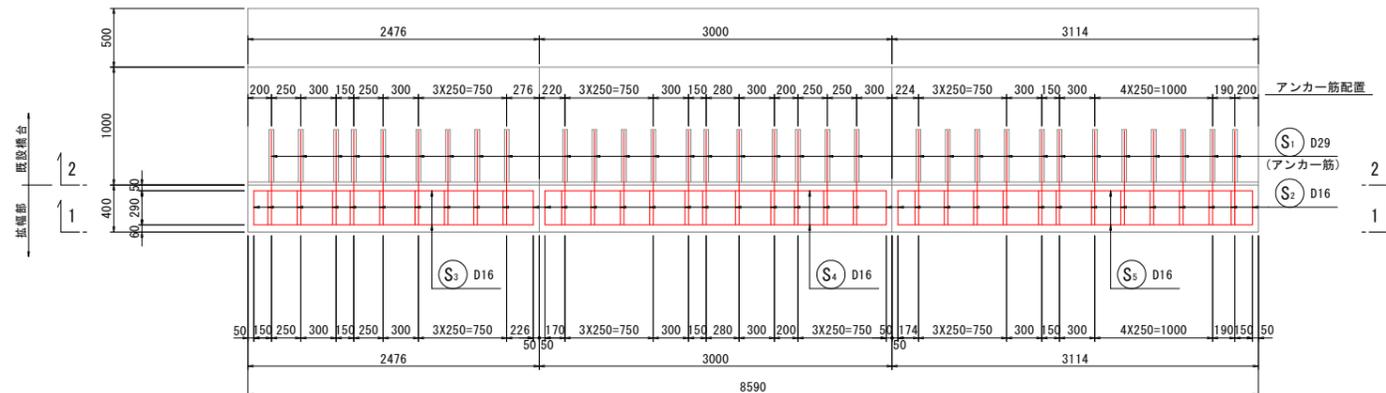
1-1  
(正面図)



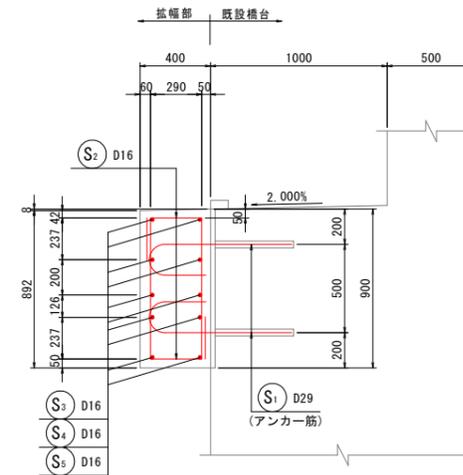
2-2  
(アンカー削孔位置)



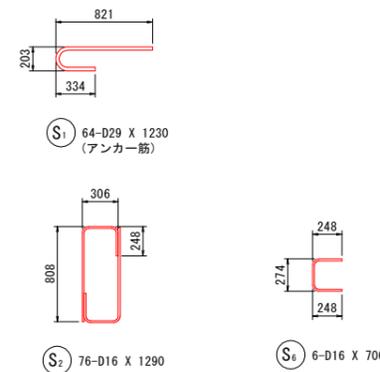
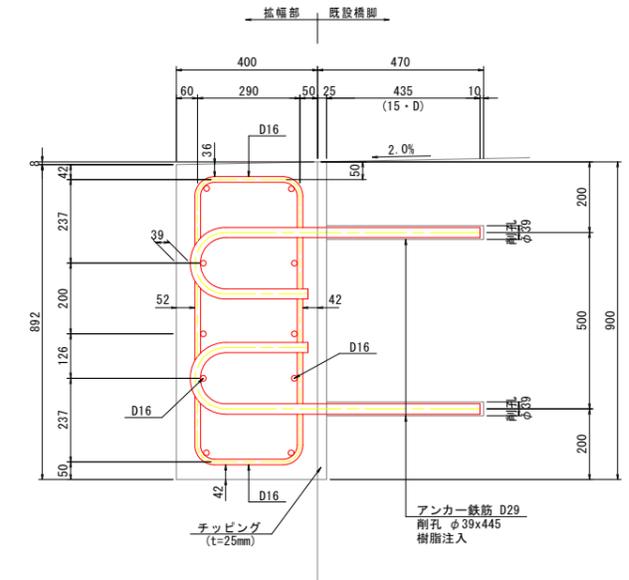
3-3  
(平面図)



4-4 S=1:20  
(断面図)



かぶり詳細図 S=1:10



鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
S <sub>1</sub>	D29	1230	64	5.04	6.20	397	U
S <sub>2</sub>	D16	1290	76	1.56	2.01	153	U
S <sub>3</sub>	D16	2380	10	1.56	3.71	37	U
S <sub>4</sub>	D16	2900	10	1.56	4.52	45	U
S <sub>5</sub>	D16	3020	10	1.56	4.71	47	U
S <sub>6</sub>	D16	700	6	1.56	1.09	7	U
686							
合計 D29				397	kg		
D16				289	kg		
総質量				686	kg		

注記

- ※コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。
- ※施工に先立ち現地実測を行い形状決定を行うこと。
- ※既設コンクリートへの削孔の際は鉄筋探査を実施して既設鉄筋を切断しないように十分注意をすること。
- ※現地でアンカー筋の配置位置を変更する場合、有効高が高くなる方向に変更すること。
- ※アンカー鉄筋の定着は既設橋台面より橋軸方向に $15 \cdot D$ 以上を確保すること。
- ※コンクリート打設後、十分な養生を行うこと。
- ※φの削孔径は、鉄筋径+10mm程度とする。
- ※水平力分担構造のアンカー筋の配置位置を変更する場合、沓座拡幅内の配力筋の位置を適宜調整すること。

実施設計図面

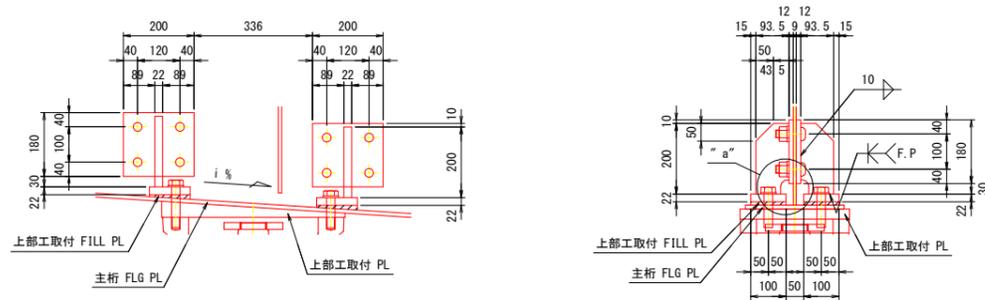
工事名	R4徳耕 広域 徳島東部3期 8の6号橋梁耐震工事
路線名等	徳島東部3期 地区
工事箇所	勝浦郡勝浦町
図面名	沓座拡幅配筋図(その2)
縮尺	1:30 図面番号 5/12
会社名	
事業者名	徳島県東部農林水産局<徳島>



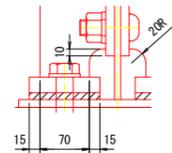
# 水平力分担構造詳細図(その2) S=1:10

## A1橋台

### 主桁補強詳細図



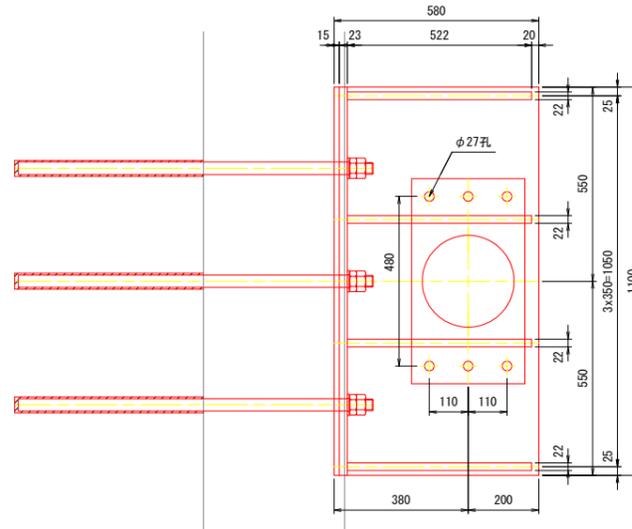
### "a"部詳細図 S=1:5



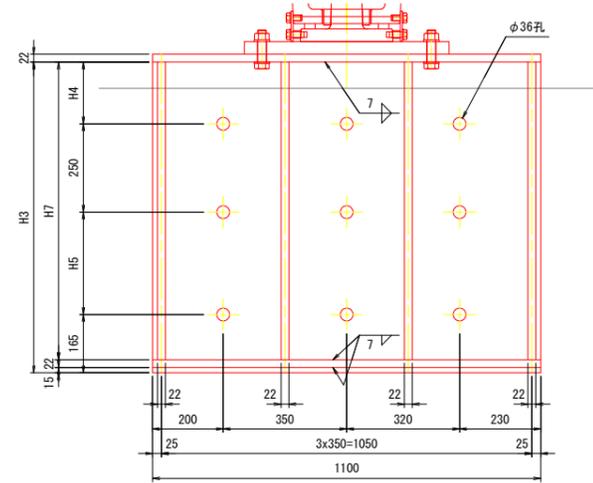
	t1	t2	t3	T1	B1	i %
G1	13.4	44.9	11.6	45	280	6.40
G2	13.9	44.8	8.9	45	250	6.89
G3	14.5	49.1	10.6	50	250	7.40

- 1基当り材料(全3基)
- 4 - Rib PL 94 x 22 x 200 (SMA400AW)
  - 4 - Web PL 180 x 12 x 200 (SMA400AW)
  - 4 - Flg PL 100 x 22 x 115 (SMA400AW)
  - 8 - TCB M22 x 70 (S10TW)

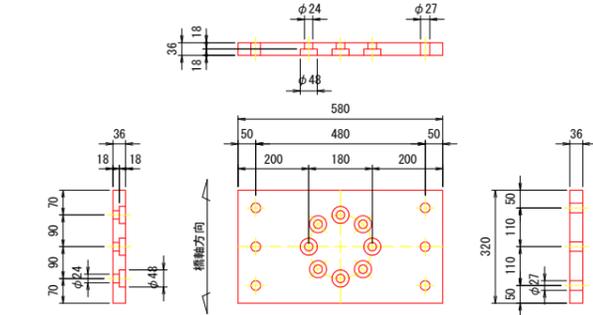
### 下部エブラケット詳細図



### 1-1

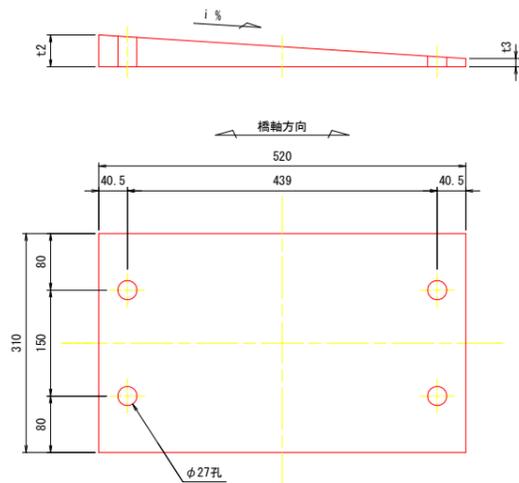


### 下部工取付 PL詳細図



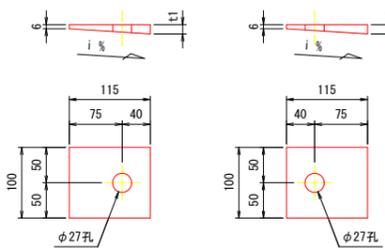
- 1基当り材料(全3基)
- 1 - PL 320 x 36 x 580 (SS400)

### 上部工取付 PL詳細図 S=1:5

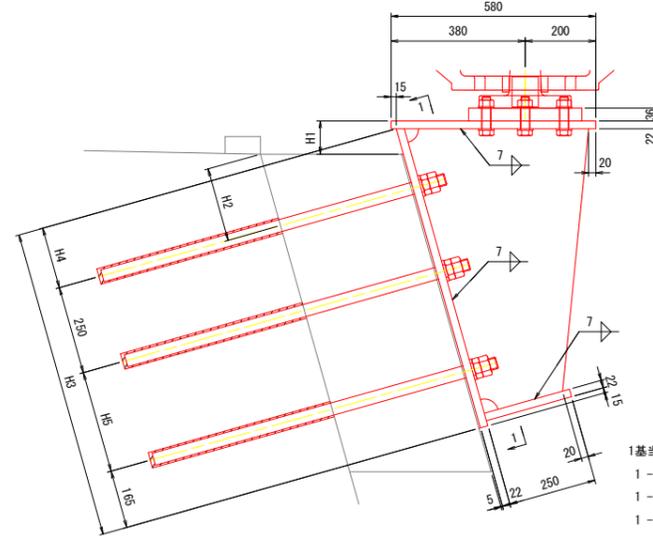


- 1基当り材料(全3基)
- 1 - PL 310 x T1 x 520 (SMA400CW)

### 上部工取付 FILL PL詳細図 S=1:5



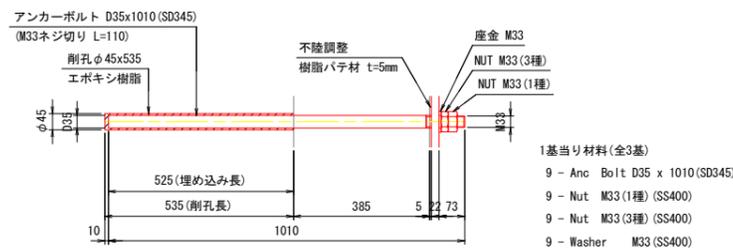
- 1基当り材料(全3基)
- 4 - FILL PL 100 x 16 x 115 (SMA400AW)



	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7
G1	94	210	880	175	290	837	843
G2	89	250	875	210	250	832	838
G3	79	250	865	200	250	822	828

- 1基当り材料(全3基)
- 1 - Base PL H3 x 22 x 1100
  - 1 - Flg PL 580 x 22 x 1100
  - 1 - Flg PL 250 x 22 x 1100
  - 4 - Rib PL 503 x 22 x H6
  - 6 - BN M24 x 95 (2-割付) (強度区分 8.8)

### アンカーボルト詳細図



- 1基当り材料(全3基)
- 9 - Anc Bolt D35 x 1010 (SD345)
  - 9 - Nut M33 (1種) (SS400)
  - 9 - Nut M33 (3種) (SS400)
  - 9 - Washer M33 (SS400)

注)

- 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
- 特記なき材質はSM400Aを示す。
- 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
- 溶接記号「F.P」は完全溶け込み開先溶接を示す。
- 削孔の際は鉄筋探査などを行い、既設鉄筋を切断することがないよう十分配慮すること。
- 下部工側アンカー定着は既設躯体より、15φ(φ:アンカー径)以上を確保すること。
- 新規部材の高力ボルト孔はφ26.5とし、既設部材への現場孔明けはφ24.5とすること。
- 高力ボルト接合部(摩擦接合面)は、浮き錆び・塗膜を取り除くとともに適切な下地処理を施すこと。
- 下部エブラケット及びアンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキ処理のこと。鋼材:HDZ55 アンカーネジ部、ナット、ワッシャー:HDZ35
- 鋼材接地面に不陸がある場合は、雨水が浸入しないように処理すること。

### 実施設計図面

工事名	R4徳耕 広域 徳島東部3期 8の6号橋梁耐震工事
路線名等	徳島東部3期 地区
工事箇所	勝浦郡勝浦町
図面名	水平力分担構造詳細図(その2)
縮尺	1:10 図面番号 7/12
会社名	
事業者名	徳島県東部農林水産局<徳島>

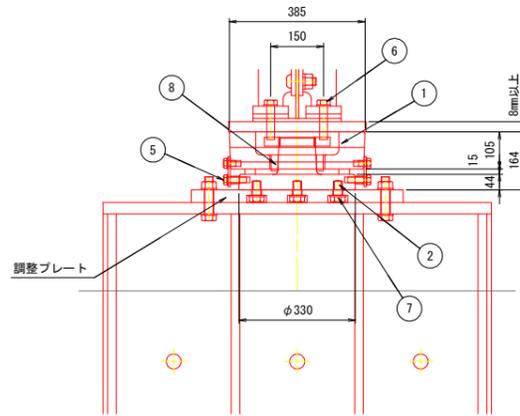
# 水平力分担構造詳細図(その3) S=1:10

## A2橋台

700kN型(設計荷重 740kN, 移動量 0mm)

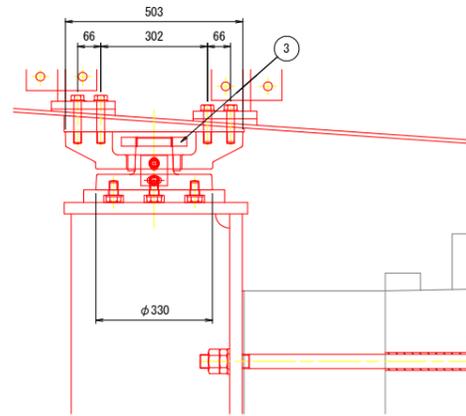
### 取付断面図

(橋軸直角方向)



### 取付側面図

(橋軸方向)

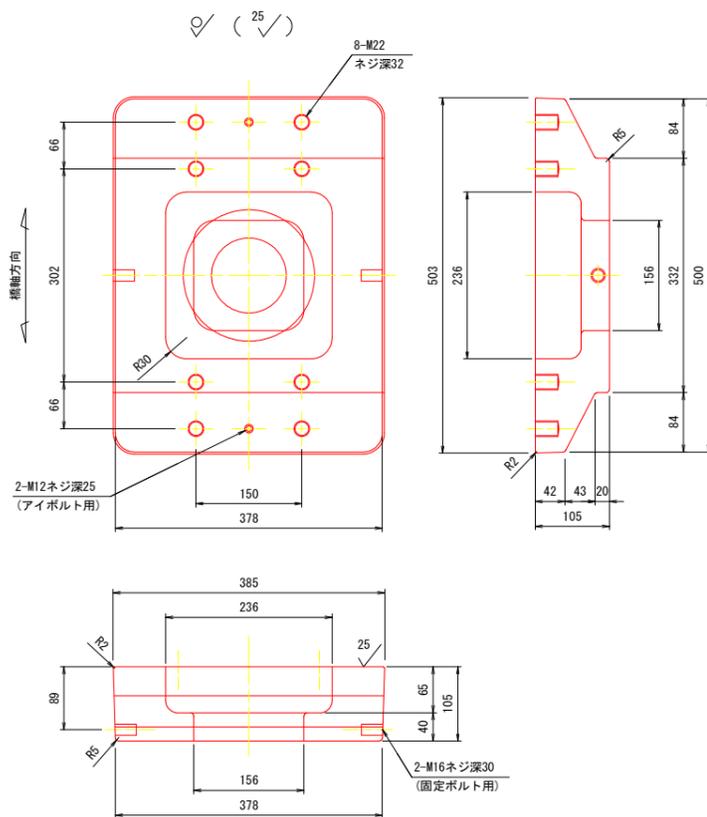


材料表

部番	名称	寸法	材質	個数	重量(kg)	備考
1	ポット部品	500×378×105	SCM480N	1	98.5	
2	ストッパー部品	φ330×149	SCM480N	1	35.6	
3	リングナット部品	φ186×25	S45CN	1	3.9	
4-1	固定用プレート	75×85×6	SS400	2	0.4	FB
4-2	スペーサー	20A×24	SGP	2	0.1	
5	固定用ボルト、ワッシャー	M16×25.50	強度区分4.8	2/2	0.3	
6	セットボルト、ワッシャー	M22×90.115	強度区分8.8	4/4	3.2	上側
7	セットボルト、ワッシャー	M24×45	強度区分8.8	8	4.0	下側
8	緩衝パッキン	φ(148-108)×50	合成ゴム	1	—	低反発型合成ゴム(複合構造型)
9	化粧ボルト、ワッシャー	M16×25	強度区分4.8	2	0.1	
10	アイボルト	M12用	SS400	—	—	
					146.1	(kg)

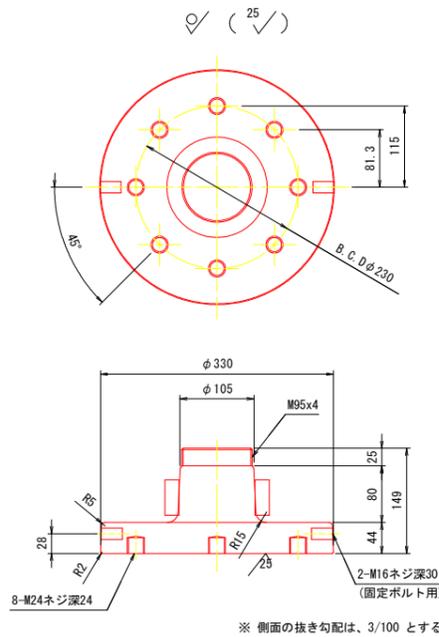
- \*1) □内部品は、溶融亜鉛メッキ(HDZ55)  
○内部品は、溶融亜鉛メッキ(HDZ35)
- \*2) アイボルトは、架設に必要な本数を協議して決定する。
- \*3) 固定用プレート、スペーサーは、ストッパーセット後取り除く。  
符号5の固定用ボルトは、化粧ボルトとして使用する。
- \*4) 固定用プレート、スペーサーは、高濃度亜鉛末塗装 30μmとする。

### ①ポット部品 S=1:5



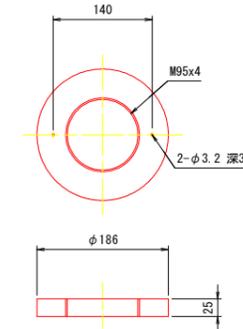
※ 側面の抜き勾配は、3/100とする。

### ②ストッパー部品 S=1:5

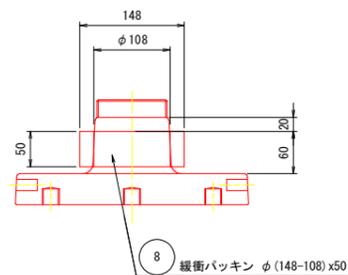


※ 側面の抜き勾配は、3/100とする。

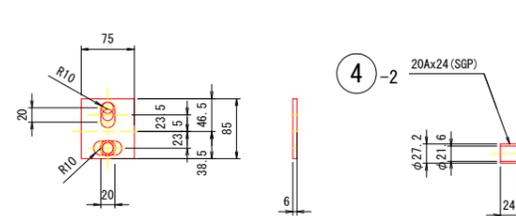
### ③リングナット部品 S=1:5



### 緩衝パッキン取付図 S=1:5



### ④-1 固定用プレート S=1:5



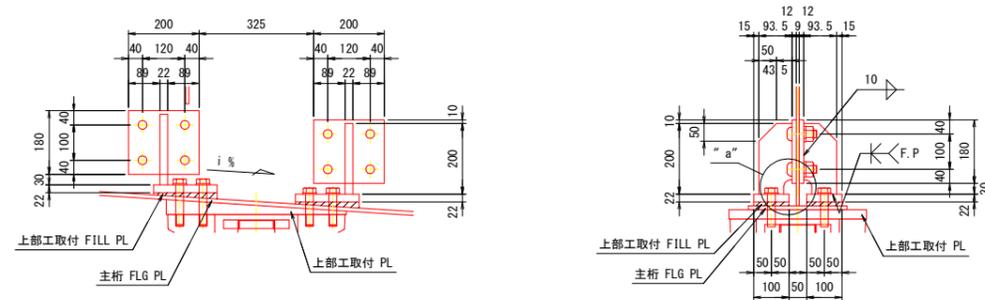
実施設計図面

工事名	R4徳耕 広域 徳島東部3期 8の6号橋梁耐震工事
路線名等	徳島東部3期 地区
工事箇所	勝浦郡勝浦町
図面名	水平力分担構造詳細図(その3)
縮尺	1:10 図面番号 8/12
会社名	
事業者名	徳島県東部農林水産局<徳島>

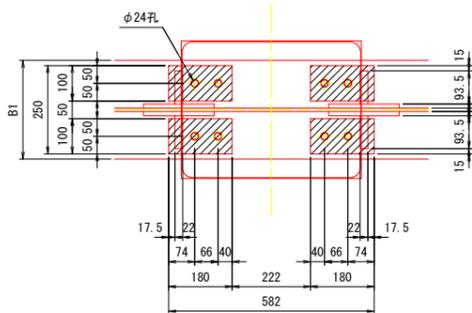
# 水平力分担構造詳細図(その4) S=1:10

## A2橋台

### 主桁補強詳細図



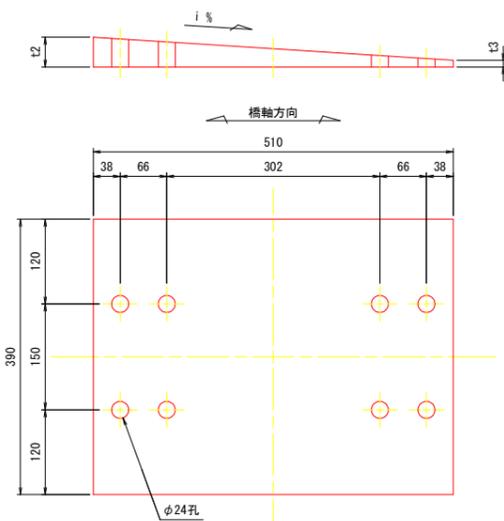
### "a"部詳細図 S=1:5



- 1基当り材料(全3基)
- 4 - Rib PL 94 x 22 x 200 (SMA400AW)
  - 4 - Web PL 180 x 12 x 200 (SMA400AW)
  - 4 - Flg PL 100 x 22 x 180 (SMA400AW)
  - 8 - TCB M22 x 70 (S10TW)

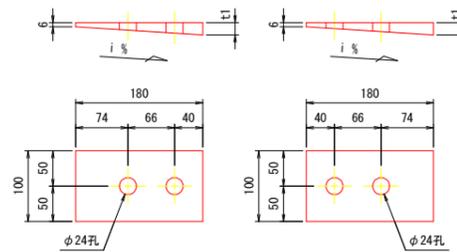
	t1	t2	t3	T1	T2	B1	i %
G1	17.5	42.3	9.6	43	19	280	6.40
G2	18.4	46.4	11.2	47	19	250	6.89
G3	19.3	50.0	12.2	51	22	250	7.40

### 上部工取付 PL詳細図 S=1:5



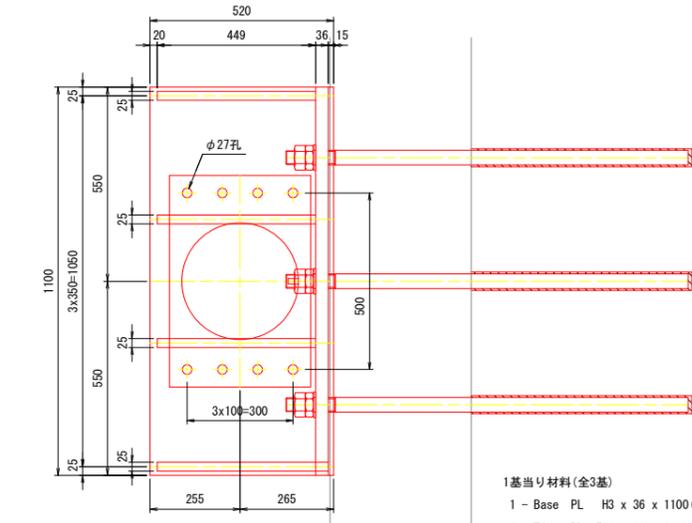
- 1基当り材料(全3基)
- 1 - PL 390 x T1 x 510 (SMA400CW)

### 上部工取付 FILL PL詳細図 S=1:5

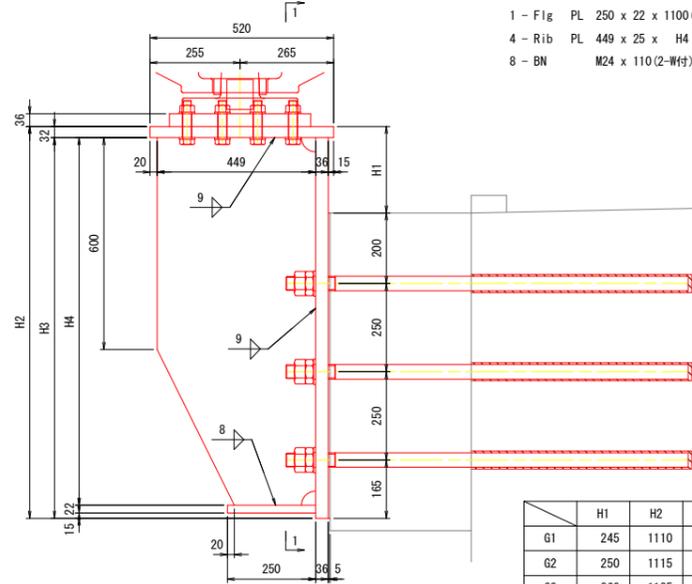


- 1基当り材料(全3基)
- 4 - FILL PL 100 x T2 x 180 (SMA400AW)

### 下部エブラケット詳細図

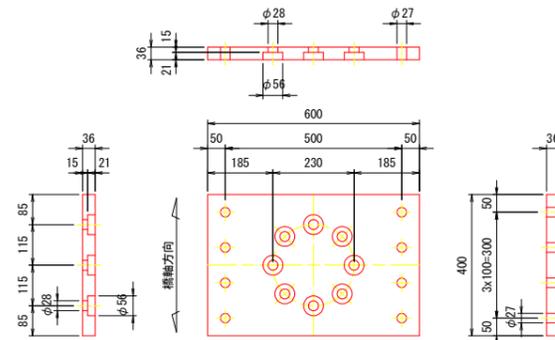


- 1基当り材料(全3基)
- 1 - Base PL H3 x 36 x 1100 (SM490YB)
  - 1 - Flg PL 520 x 32 x 1100 (SM490YB)
  - 1 - Flg PL 250 x 22 x 1100 (SM490YB)
  - 4 - Rib PL 449 x 25 x H4
  - 8 - BN M24 x 110 (2-冊付) (強度区分 8. 8)



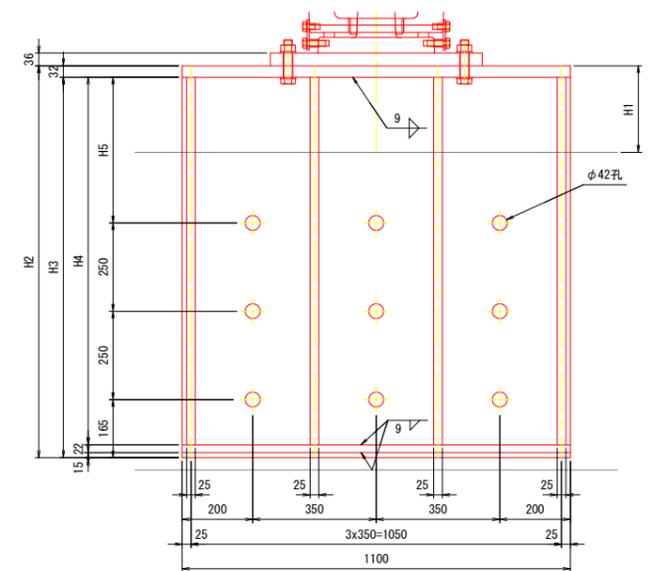
	H1	H2	H3	H4	H5
G1	245	1110	1078	1041	413
G2	250	1115	1083	1046	418
G3	260	1125	1093	1056	428

### 下部工取付 PL詳細図

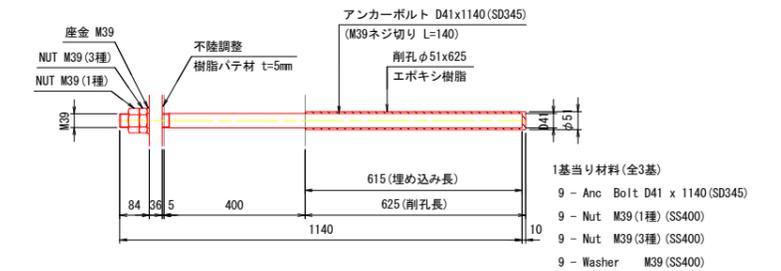


- 1基当り材料(全3基)
- 1 - PL 400 x 36 x 600 (SS400)

### 1-1



### アンカーボルト詳細図



- 1基当り材料(全3基)
- 9 - Anc Bolt D41 x 1140 (SD345)
  - 9 - Nut M39 (1種) (SS400)
  - 9 - Nut M39 (3種) (SS400)
  - 9 - Washer M39 (SS400)

注)

- 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
- 特記なき材質はSM400Aを示す。
- 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
- 溶接記号「F.P」は完全溶け込み開先溶接を示す。
- 削孔の際は鉄筋探査などを行い、既設鉄筋を切断することがないように十分配慮すること。
- 下部工側アンカー定着は既設躯体より、15φ(φ:アンカー径)以上を確保すること。
- 新規部材の高力ボルト孔はφ26.5とし、既設部材への現場孔明けはφ24.5とすること。
- 高力ボルト接合部(摩擦接合面)は、浮き錆び・塗膜を取り除くとともに適切な下地処理を施すこと。
- 下部エブラケット及びアンカーのネジ部は溶融亜鉛メッキ処理のこと。鋼材:HDZ55 アンカー-ネジ部、ナット、ワッシャー:HDZ35
- 鋼材接地面に不陸がある場合は、雨水が浸入しないように処理すること。

### 実施設計図面

工事名	R4徳耕 広域 徳島東部3期 8の6号橋梁耐震工事
路線名等	徳島東部3期 地区
工事箇所	勝浦郡勝浦町
図面名	水平力分担構造詳細図(その4)
縮尺	1:10 図面番号 9/12
会社名	
事業者名	徳島県東部農林水産局<徳島>

# 既設排水管改良図(その1) S=1:30

## A2橋台部

現況

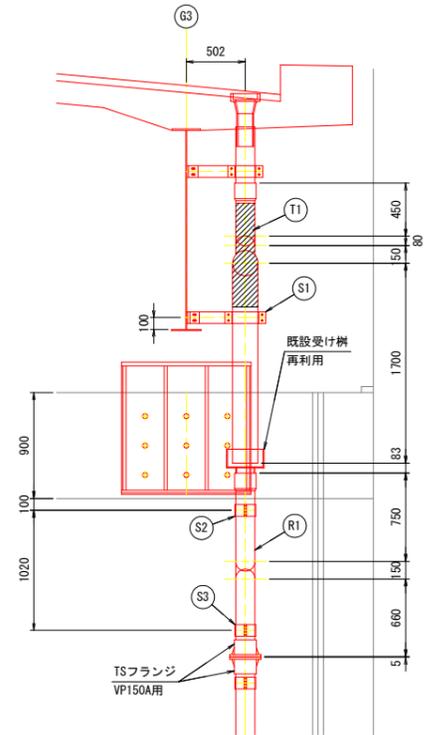
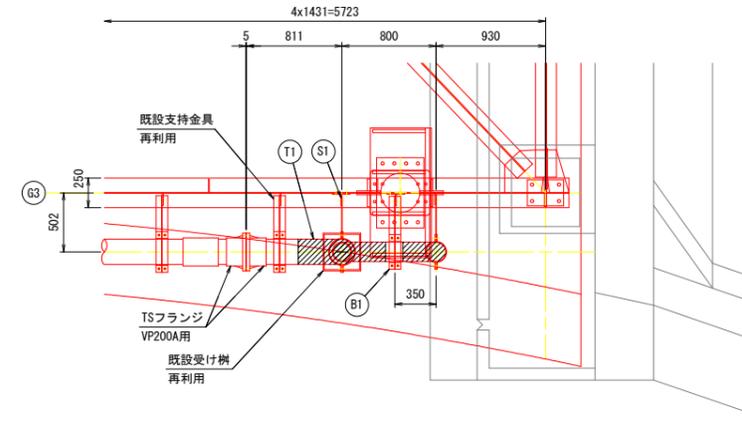
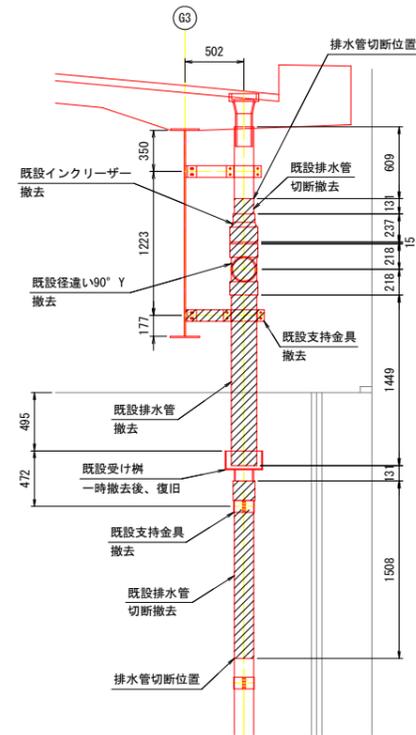
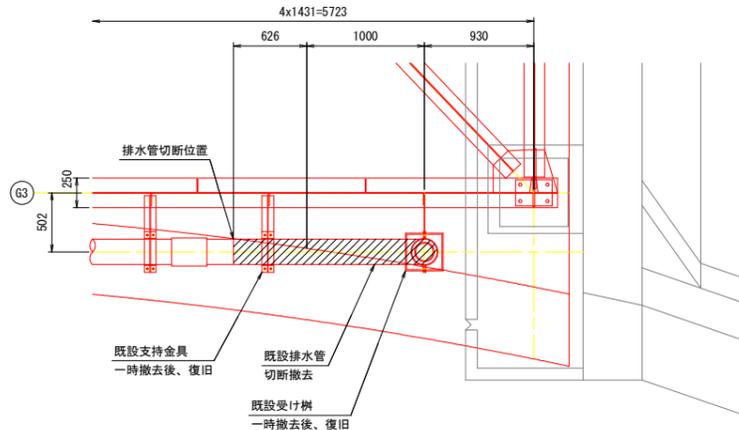
改造後

平面図

正面図

平面図

正面図

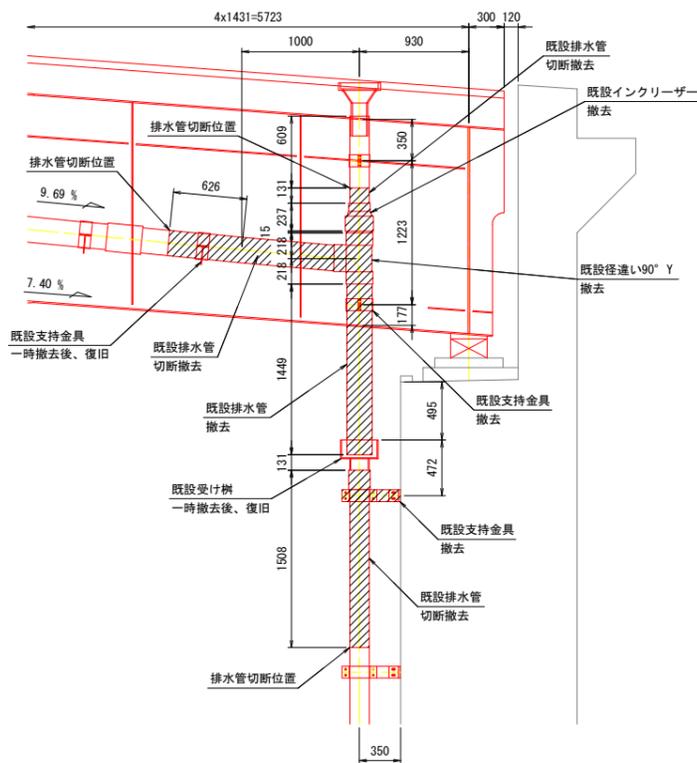
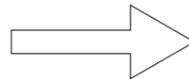


側面図

側面図

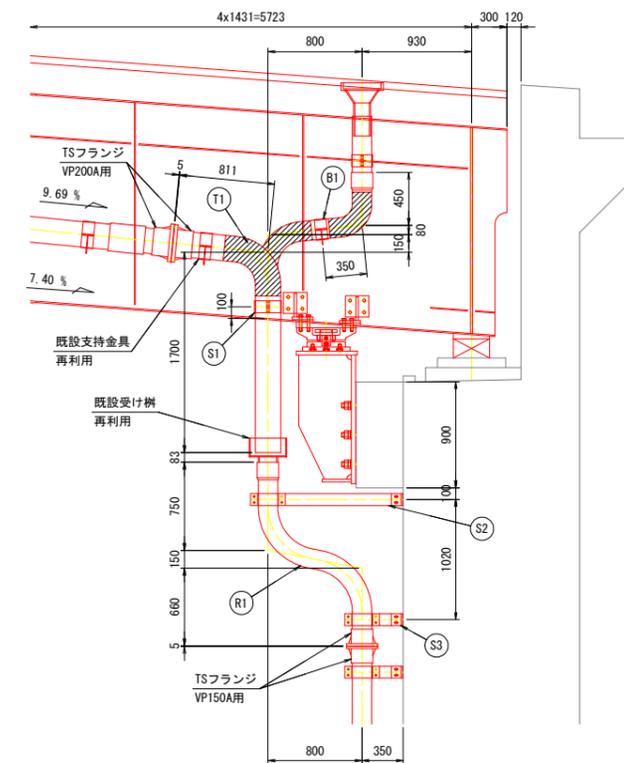
A2-G3

A2-G3



- 上部工側既設撤去材料
- 1 - VP150A x 211
  - 1 - VP200A x 225
  - 1 - VP200A x 1516
  - 1 - VP200A x 1554
  - 1 - VP200A用(径違い90° Y)
  - 1 - VP150A - VP200A用(インクリーザー)
  - 1 - PL 100 x 6 x 96(SUS304)
  - 1 - PL 100 x 6 x 350(SUS304)
  - 2 - PL 100 x 6 x 459(SUS304)
  - 4 - BN M12 x 40(SUS304)
  - 2 - BN M12 x 30(SUS304)

- 下部工側既設撤去材料
- 1 - VP150A x 1423
  - 1 - VP150A用(ソケット)
  - 1 - PL 100 x 6 x 96(SUS304)
  - 1 - PL 100 x 6 x 195(SUS304)
  - 2 - PL 100 x 6 x 379(SUS304)
  - 1 - PL 100 x 6 x 200(SUS304)
  - 4 - BN M12 x 40(SUS304)
  - 2 - BN M12 x 30(SUS304)



注) 1. 既設部撤去及び新設部材製作は現地実測の上、行うこと。

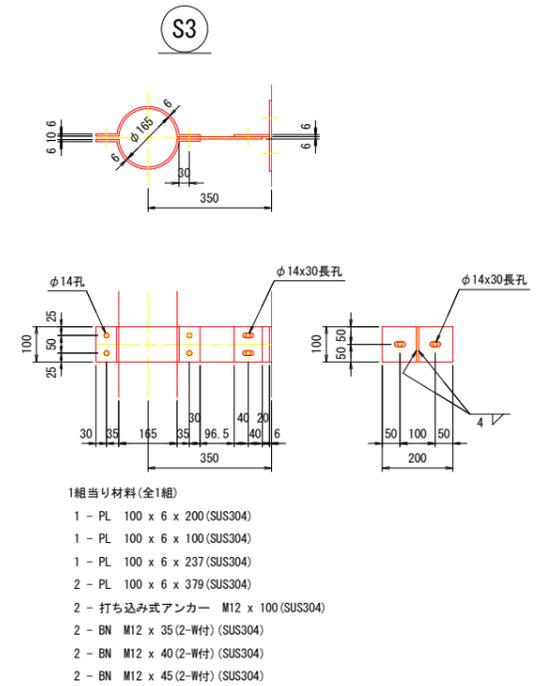
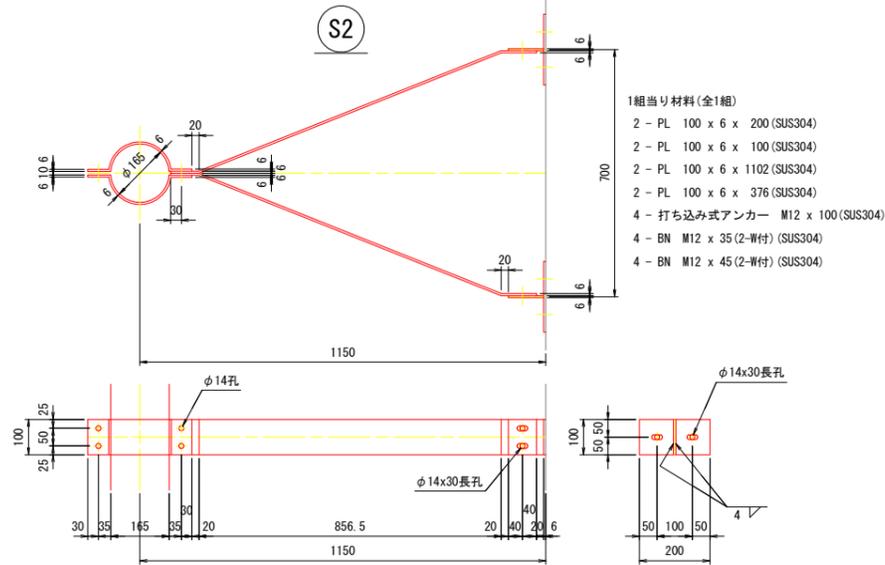
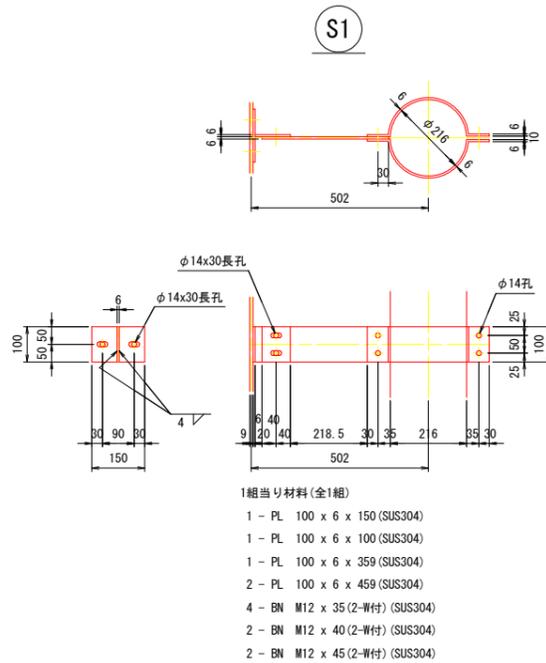
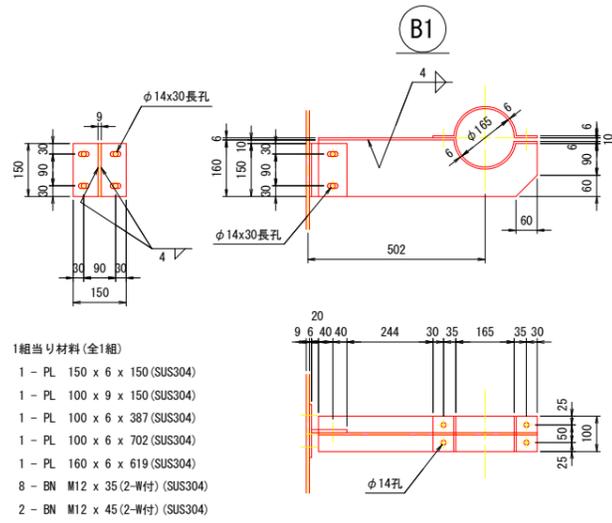
実施設計図面

工事名	R4徳耕 広域 徳島東部3期
路線名等	8の6号橋梁耐震工事
工事箇所	徳島東部3期 地区
図面名	勝浦郡勝浦町
縮尺	既設排水管改良図(その1)
会社名	1:30 図面番号 10/12
事業者名	徳島県東部農林水産局<徳島>

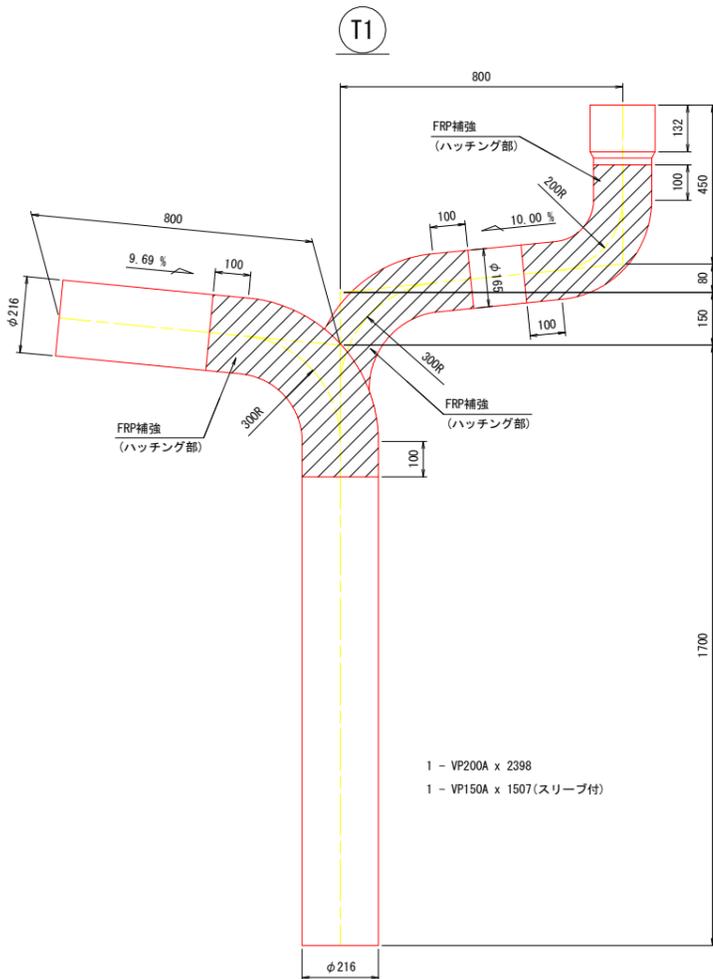
# 既設排水管改良図(その2) S=1:10

## A2橋台部

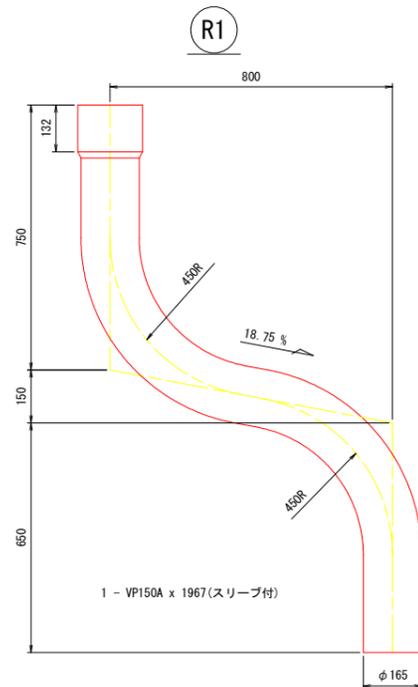
### 支持金具詳細



### チーズ管詳細

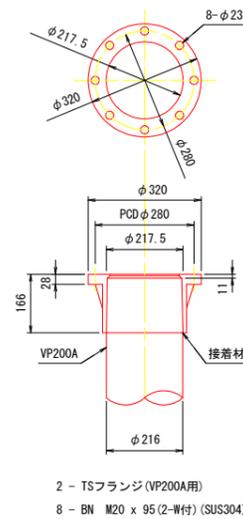


### 曲管詳細

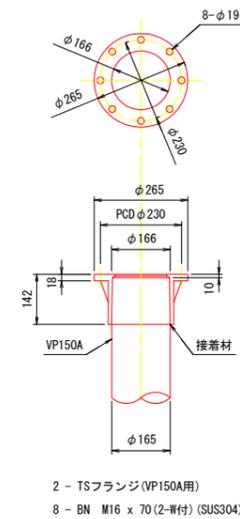


### TSフランジ詳細

#### VP200A用

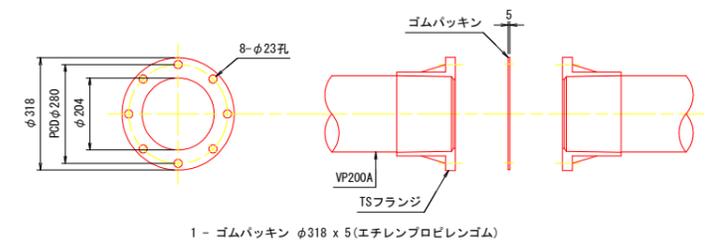


#### VP150A用

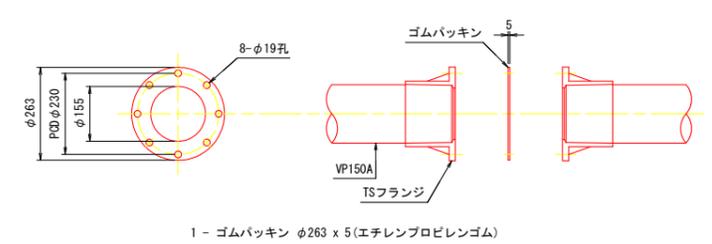


### ゴムパッキン詳細

#### VP200A用



#### VP150A用



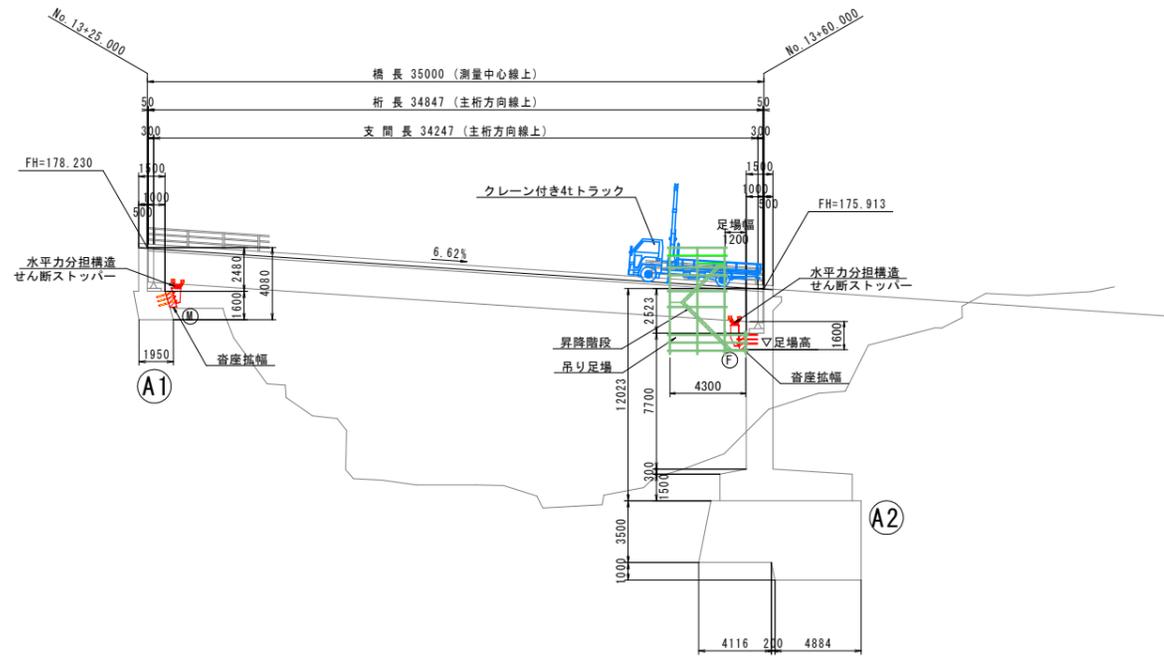
注) 1. 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。

#### 実施設計図面

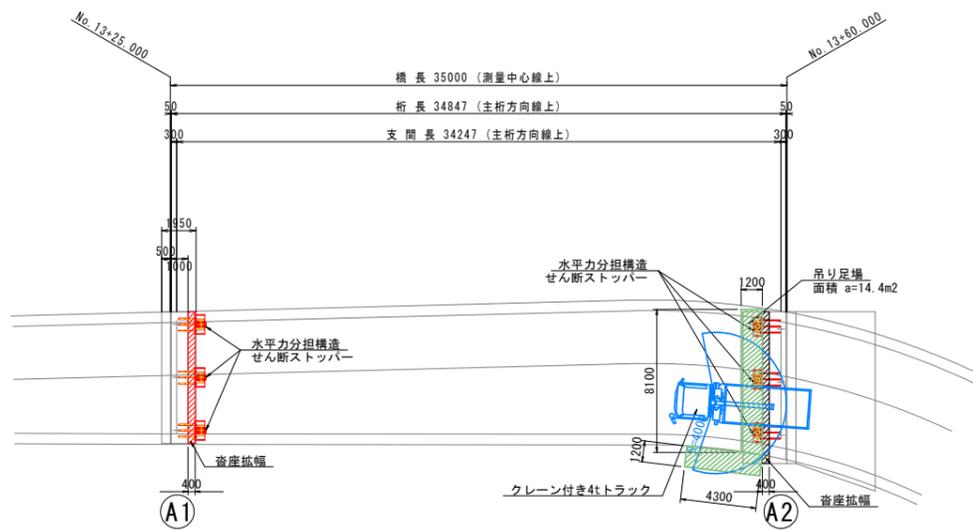
工事名	R4徳耕 広域 徳島東部3期 8の6号橋梁耐震工事
路線名等	徳島東部3期 地区
工事箇所	勝浦郡勝浦町
図面名	既設排水管改良図(その2)
縮尺	1:10 図面番号 11/12
会社名	
事業者名	徳島県東部農林水産局<徳島>

# 施工計画図 S=1:200

## 側面図

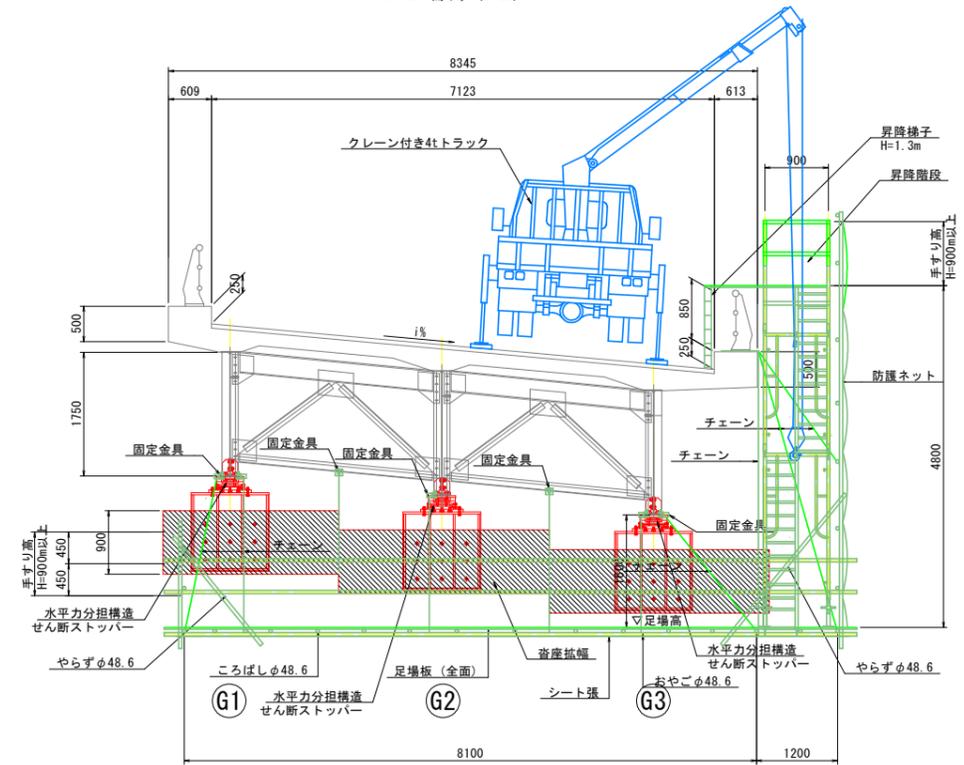


## 平面図



## 断面図 S=1:50

### SH2端部(A2)



### 【施工要領】

- 1 準備工
- 2 足場設置工
- 3 現寸調査・鉄筋探査
- 4 コンクリート削孔
- 5 鋼材製作
- 6 鋼材表面処理メッキ
- 7 鋼材搬入・取付け
- 8 後片付け
- 9 足場解体
- 10 工事完了

- ・落橋防止構造の施工に先立ち、足場を設置する。
  - ・設置後、施工機械の吊下しを行う。
  - ・吊り足場設置完了後、現寸調査及び鉄筋探査を行う。
  - ・コンクリート削孔を行い、コンクリート削孔完了後、工場にてブラケット等の製作を行う。
  - ・ブラケット等の搬入・取付を行う。
  - ・全ての作業終了後、後片付けを行う。
  - ・足場を解体し、工事完了とする。
- なお、吊り足場設置・撤去時および資材吊り時は片側交互通行とする。

### 実施設計図面

工事名	R4徳耕 広域 徳島東部3期 8の6号橋梁耐震工事
路線名等	徳島東部3期 地区
工事箇所	勝浦郡勝浦町
図面名	施工計画図
縮尺	1:200 図面番号 12/12
会社名	
事業者名	徳島県東部農林水産局〈徳島〉